

FANG+インデックス・オープン

運用報告書(全体版)

第6期

(決算日 2024年1月30日)

(作成対象期間 2023年1月31日～2024年1月30日)

■信託期間終了日を2028年1月28日から
無期限に変更しました。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型		
信託期間	無期限（設定日：2018年3月5日）		
運用方針	投資成果をNYSE FANG+指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	FANG+インデックス・マザーファンドの受益証券	
	FANG+インデックス・マザーファンド	イ. 米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ロ. 米国株式の指数との連動をめざすETF（上場投資信託証券）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率 マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等の中から分配を行なうことをめざします。ただし、配当等収益等が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国上場企業の株式に投資し、NYSE FANG+指数（配当込み、円ベース）の動きに連動した投資成果をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、円ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(ベンチマーク)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
2 期末 (2020年 1月30日)	13,132	20	41.7	13,422	42.8	95.0	4.9	0.3	3,274
3 期末 (2021年 2月 1日)	23,833	10	81.6	24,598	83.3	96.8	3.3	—	10,481
4 期末 (2022年 1月31日)	26,241	0	10.1	27,301	11.0	97.7	2.3	—	12,781
5 期末 (2023年 1月30日)	24,336	0	△ 7.3	25,509	△ 6.6	96.3	3.8	—	15,080
6 期末 (2024年 1月30日)	47,753	90	96.6	50,578	98.3	93.6	8.7	—	20,124

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、円ベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日の前営業日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

※ベンチマークを「NYSE FANG+指数 (円ベース)」から「NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、円ベース)」に変更しました。

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. The index data and marks referenced herein are the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers ("ICE Data and its Suppliers") and have been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] for a full copy of the Disclaimer.

出所：ICE Data Indices, LLC (以下「ICE データ」)

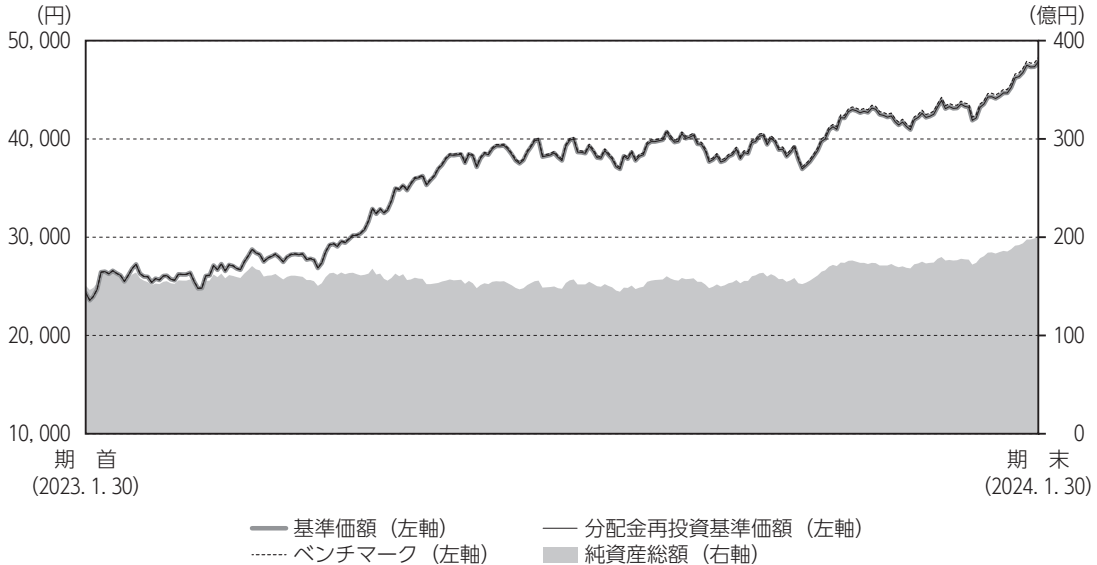
本書で言及されているインデックスデータおよびマークは、ICE データ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICE データおよびその供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * ベンチマークはNYSE FANG+指数（税引後配当込み、円ベース）です。
※ベンチマークを「NYSE FANG+指数（円ベース）」から「NYSE FANG+指数（税引後配当込み、円ベース）」に変更しました。

基準価額・騰落率

期首：24,336円

期末：47,753円（分配金90円）

騰落率：96.6%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

ベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行った結果、米ドル円為替相場が上昇（円安）したことや、米国株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

FANG+インデックス・オープン

年 月 日	基 準 価 額		NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、円ベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(ベンチマーク)	騰 落 率 %			
(期首)2023年 1月30日	24,336	—	25,509	—	96.3	3.8	—
1月末	23,572	△ 3.1	24,708	△ 3.1	96.2	3.7	—
2月末	26,051	7.0	27,322	7.1	96.4	3.8	—
3月末	28,072	15.4	29,462	15.5	97.1	2.9	—
4月末	28,478	17.0	29,907	17.2	96.1	3.8	—
5月末	35,247	44.8	37,042	45.2	95.3	4.5	—
6月末	38,377	57.7	40,362	58.2	97.7	2.7	—
7月末	39,279	61.4	41,338	62.1	95.5	4.8	—
8月末	39,730	63.3	41,839	64.0	96.4	4.0	—
9月末	38,218	57.0	40,277	57.9	96.8	3.4	—
10月末	37,686	54.9	39,746	55.8	97.3	3.0	—
11月末	42,225	73.5	44,561	74.7	97.4	3.0	—
12月末	43,238	77.7	45,660	79.0	97.8	3.0	—
(期末)2024年 1月30日	47,843	96.6	50,578	98.3	93.6	8.7	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 1. 31 ~ 2024. 1. 30)

■米国株式市況

米国株式市況は、大幅に上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、賃金上昇率の鈍化でF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2023年3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、F R Bによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬からは、A I（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感され、大幅に上昇しました。8月以降は、米国国債の増発やF R Bの政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。10月に入ると、つなぎ予算の成立により政府機関の閉鎖が回避され一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことやF R B議長発言を受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、急上昇しました。2024年1月に入ると、台湾の半導体企業が強気見通しを出したことが好感され株価は続伸し、当作成期末を迎えました。

■為替相場（米ドル／円）

為替相場は対円で上昇しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、日銀の次期総裁候補に植田氏が指名され、金融緩和政策の継続への期待が高まったことや、米国の地方銀行の信用不安の後退により、米ドルは対円で上昇しました。2023年7月に入ると、日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、米ドルは対円で下落（円高）しました。8月以降は、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、米ドルは対円で上昇しました。しかし11月以降は、米国金利の大幅な低下を背景に日米金利差の縮小が意識され、米ドルは対円で下落しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に、米ドルは対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「FANG+インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

■FANG+インデックス・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

ポートフォリオについて

(2023. 1. 31 ~ 2024. 1. 30)

■当ファンド

「FANG+インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率は、当作成期を通じておおむね100%程度に維持しました。

■FANG+インデックス・マザーファンド

米国株式を中心に、外国株式先物も一部利用し、株式組入比率（株価指数先物を含む。）につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

ベンチマークの採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

* マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

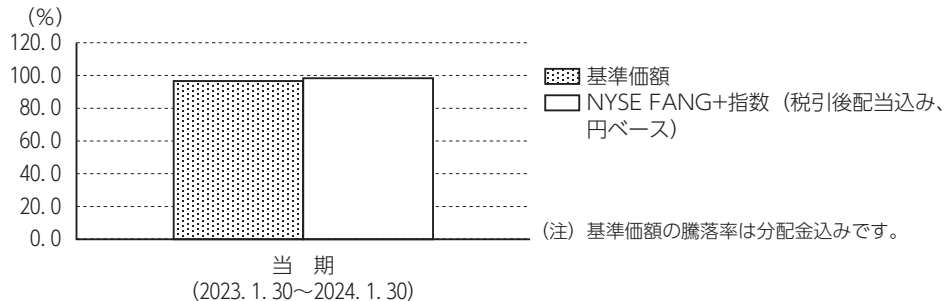
組入ファンド	ベンチマーク
FANG+インデックス・マザーファンド	NYSE FANG+指数（税引後配当込み、円ベース）

ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は98.3%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は96.6%となりました。

マザーファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異が、かい離要因となりました。その他、運用管理費用、マザーファンドにおける売買委託手数料や保管費用等のコスト負担がかい離要因としてあげられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



*ベンチマークはNYSE FANG+指数（税引後配当込み、円ベース）です。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年1月31日 ～2024年1月30日	
当期分配金（税込み）	(円)	90
対基準価額比率	(%)	0.19
当期の収益	(円)	90
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	37,753

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 95.38円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	16,264.63
(c) 収益調整金	20,780.91
(d) 分配準備積立金	702.22
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	37,843.15
(f) 分配金	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	37,753.15

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「FANG+インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

FANG+インデックス・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 1. 31～2024. 1. 30)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	287円	0. 797%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は36, 048円です。
(投 信 会 社)	(147)	(0. 407)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(131)	(0. 363)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(10)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0. 009	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0. 006)	
(先物・オプション)	(1)	(0. 003)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	4	0. 012	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	295	0. 819	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

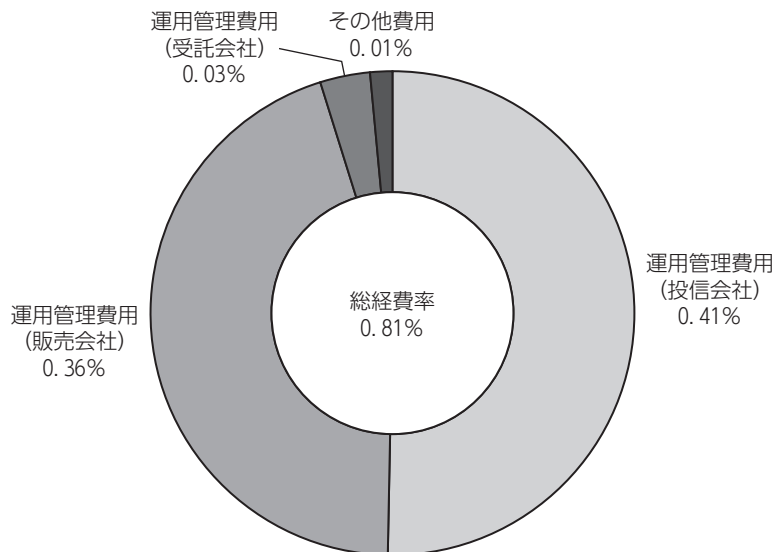
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.81%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年1月31日から2024年1月30日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
FANG+インデックス・マザーファンド	793,648	3,145,470	2,772,459	9,372,539

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年1月31日から2024年1月30日まで)

項 目	当 期
	FANG+インデックス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	66,328,885千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	43,395,364千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.52

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
FANG+インデックス・マザーファンド	6,080,354	4,101,542	20,160,723

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年1月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
FANG+インデックス・マザーファンド	20,160,723	99.3
コール・ローン等、その他	148,725	0.7
投資信託財産総額	20,309,448	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝147.38円です。

(注3) FANG+インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(95,384,901千円)の投資信託財産総額(102,031,937千円)に対する比率は、93.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年1月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	20,309,448,729円
コール・ローン等	148,725,044
FANG+インデックス・マザーファンド(評価額)	20,160,723,685
(B) 負債	185,103,997
未払収益分配金	37,928,192
未払解約金	80,713,748
未払信託報酬	66,004,729
その他未払費用	457,328
(C) 純資産総額(A-B)	20,124,344,732
元本	4,214,243,598
次期繰越損益金	15,910,101,134
(D) 受益権総口数	4,214,243,598口
1万口当り基準価額(C/D)	47,753円

* 期首における元本額は6,196,501,997円、当作成期間中における追加設定元本額は2,514,573,317円、同解約元本額は4,496,831,716円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は47,753円です。

■損益の状況

当期 自 2023年 1月31日 至 2024年 1月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 30,944円
受取利息	12,501
支払利息	△ 43,445
(B) 有価証券売買損益	7,330,218,478
売買益	10,482,557,987
売買損	△ 3,152,339,509
(C) 信託報酬等	△ 129,389,471
(D) 当期損益金 (A + B + C)	7,200,798,063
(E) 前期繰越損益金	△ 10,350,990
(F) 追加信託差損益金	8,757,582,253
(配当等相当額)	(2,599,158,539)
(売買損益相当額)	(6,158,423,714)
(G) 合計 (D + E + F)	15,948,029,326
(H) 収益分配金	△ 37,928,192
次期繰越損益金 (G + H)	15,910,101,134
追加信託差損益金	8,757,582,253
(配当等相当額)	(2,599,158,539)
(売買損益相当額)	(6,158,423,714)
分配準備積立金	7,152,518,881

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	40,199,225円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	6,854,314,275
(c) 収益調整金	8,757,582,253
(d) 分配準備積立金	295,933,573
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	15,948,029,326
(f) 分配金	37,928,192
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	15,910,101,134
(h) 受益権総口数	4,214,243,598口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金

90円

● (分配金再投資コース) をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■ベンチマークの変更について

当ファンドおよび当ファンドの主要投資対象である「FANG+インデックス・マザーファンド」のベンチマークとしている株価指数を、以下の通り配当を含む株価指数に変更しました。

変更前：NYSE FANG+指数 (円ベース)

変更後：NYSE FANG+指数 (配当込み、円ベース)

■信託期間の延長について

信託期間終了日を2028年1月28日から無期限に変更しました。

FANG+インデックス・マザーファンド

運用報告書 第6期 (決算日 2024年1月30日)

(作成対象期間 2023年1月31日～2024年1月30日)

FANG+インデックス・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	投資成果を NYSE FANG+指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. 米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ロ. 米国株式の指数との連動をめざすETF（上場投資信託証券）
株式組入制限	無制限

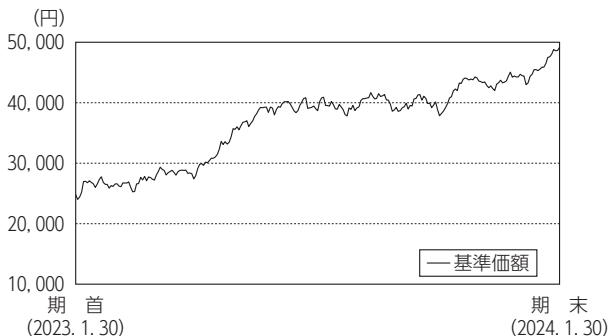
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



【運用経過】

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：24,802円 期末：49,154円 騰落率：98.2%

【基準価額の主な変動要因】

ベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行った結果、米ドル円為替相場が上昇（円安）したことや、米国株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、大幅に上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、賃金上昇率の鈍化でF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2023年3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、F R Bによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬からは、AI（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感され、大幅に上昇しました。8月以降は、米国国債の増発やF R Bの政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。10月に入ると、つなぎ予算の成立により政府機関の閉鎖が回避され一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことやF R B議長の発言を受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、急上昇しました。2024年1月に入ると、台湾の半導体企業が強気見通しを出したことが好感され株価は続伸し、当作成期末を迎えました。

○為替相場（米ドル/円）

為替相場は対円で上昇しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、日銀の次期総裁候補に植田氏が指名され、金融緩和政策の継続への期待が高まったことや、米国の地方銀行の信用不安の後退により、米ドルは対円で上昇しました。2023年7月に入ると、日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、米ドルは対円で下落（円高）しました。8月以降は、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、米ドルは対円で上昇しました。しかし11月以降は、米国金利の大幅な低下を背景に日米金利差の縮小が意識され、米ドルは対円で下落しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に、米ドルは対円で上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

◆ポートフォリオについて

米国株式を中心に、外国株式先物も一部利用し、株式組入比率（株価指数先物を含む。）につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

ベンチマークの採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

年 月 日	基準 価 額		NYSE FANG+ 指数 (税引後配当 込み、円ベース)		株 組 比	式 入 率	株 先 比	式 物 率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	%	(ベンチマーク)	%					
(期首) 2023年 1月30日	24,802	—	25,180	—	96.3	3.8	—	—	
1月末	24,024	△ 3.1	24,389	△ 3.1	96.2	3.7	—	—	
2月末	26,567	7.1	26,970	7.1	96.4	3.8	—	—	
3月末	28,647	15.5	29,082	15.5	97.1	2.9	—	—	
4月末	29,079	17.2	29,521	17.2	96.1	3.8	—	—	
5月末	36,017	45.2	36,564	45.2	95.2	4.5	—	—	
6月末	39,242	58.2	39,841	58.2	97.7	2.7	—	—	
7月末	40,191	62.0	40,805	62.1	95.5	4.8	—	—	
8月末	40,681	64.0	41,300	64.0	96.4	4.0	—	—	
9月末	39,158	57.9	39,758	57.9	96.8	3.4	—	—	
10月末	38,640	55.8	39,234	55.8	97.3	3.0	—	—	
11月末	43,323	74.7	43,986	74.7	97.4	3.0	—	—	
12月末	44,391	79.0	45,072	79.0	97.7	3.0	—	—	
(期末) 2024年 1月30日	49,154	98.2	49,926	98.3	93.4	8.7	—	—	

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、円ベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

※ベンチマークを「NYSE FANG+指数 (円ベース)」から「NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、円ベース)」に変更しました。

◆ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は98.3%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は98.2%となりました。

ファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異が、かい離要因となりました。その他、売買委託手数料や保管費用等のコスト負担がかい離要因としてあげられます。

*ベンチマークは NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、円ベース) です。

《今後の運用方針》

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	4円 (2)
(先物・オプション)	(1)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用)	3 (2)
(その他)	(0)
合 計	7

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

株 式

(2023年1月31日から2024年1月30日まで)

銘 柄	当 期 買 付			当 期 売 付			
	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
BROADCOM INC (アメリカ)	58.375	8,074,423	138,319	ADVANCED MICRO DEVICES (アメリカ)	337.721	4,978,056	14,740
ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	261.202	5,026,061	19,242	NVIDIA CORP (アメリカ)	59.501	2,753,396	46,274
SNOWFLAKE INC-CLASS A (アメリカ)	186.804	4,731,724	25,329	META PLATFORMS INC CLASS A (アメリカ)	84.484	2,507,097	29,675
NETFLIX INC (アメリカ)	70.574	4,493,099	63,665	AMAZON.COM INC (アメリカ)	71.18	1,248,462	17,539
APPLE INC (アメリカ)	166.62	4,481,668	26,897	NETFLIX INC (アメリカ)	21.24	1,170,399	55,103
TESLA INC (アメリカ)	128.901	4,427,681	34,349	SNOWFLAKE INC-CLASS A (アメリカ)	44.707	1,111,583	24,863
AMAZON.COM INC (アメリカ)	213.235	4,365,590	20,473	ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	63.342	1,087,930	17,175
MICROSOFT CORP (アメリカ)	82.699	4,326,627	52,317	BROADCOM INC (アメリカ)	6.1	977,392	160,228
NVIDIA CORP (アメリカ)	53.256	4,073,412	76,487	TESLA INC (アメリカ)	31.408	929,405	29,591
META PLATFORMS INC CLASS A (アメリカ)	73.392	3,797,219	51,738	APPLE INC (アメリカ)	32.764	788,571	24,068

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2023年1月31日から2024年1月30日まで)

外 国	アメリカ	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
		13,130.35 (ー)	千アメリカ・ドル 329,680 (ー)	7,686.72 (ー)	千アメリカ・ドル 128,595 (ー)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2023年1月31日から2024年1月30日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国 株式先物取引	百万円 45,837	百万円 40,053	百万円 ー	百万円 ー

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	期首 株数	当期 株数	期末 評価額		業種等	
			外貨建金額 千アメリカ・ドル	邦貨換算金額 千円		
(アメリカ)	百株	百株				
APPLE INC	1,539	2,877.56	55,171	8,131,169	情報技術	
BROADCOM INC	—	522.75	63,658	9,382,052	情報技術	
AMAZON.COM INC	2,406.65	3,827.2	61,717	9,095,914	一般消費財・サービス	
ALPHABET INC-CL A	2,318.3	4,296.9	65,961	9,721,437	コミュニケーション・サービス	
META PLATFORMS INC CLASS A	1,812.66	1,701.74	68,243	10,057,679	コミュニケーション・サービス	
TESLA INC	1,405.62	2,380.55	45,451	6,698,692	一般消費財・サービス	
SNOWFLAKE INC-CLASS A	1,477.22	2,898.19	60,728	8,950,191	情報技術	
NVIDIA CORP	1,247.03	1,184.58	73,994	10,905,352	情報技術	
NETFLIX INC	693.46	1,186.8	68,334	10,071,176	コミュニケーション・サービス	
ADVANCED MICRO DEVICES	3,197.44	—	—	—	情報技術	
MICROSOFT CORP	856.86	1,521.6	62,342	9,188,110	情報技術	
ファンド合計	株数、金額	16,954.24	22,397.87	625,605	92,201,776	
	銘柄数<比率>	10銘柄	10銘柄		<93.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
外国 NYSE FANG+ IDX FU (アメリカ)	百万円 8,559	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年1月30日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 92,201,776	% 90.4
コール・ローン等、その他	9,830,160	9.6
投資信託財産総額	102,031,937	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=147.38円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(95,384,901千円)の投資信託財産総額(102,031,937千円)に対する比率は、93.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年1月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	107,366,779,381円
コール・ローン等	6,652,434,687
株式（評価額）	92,201,776,573
未収入金	5,612,164,142
差入委託証拠金	2,900,403,979
(B) 負債	8,647,798,489
未払金	8,647,798,489
(C) 純資産総額（A－B）	98,718,980,892
元本	20,083,545,823
次期繰越損益金	78,635,435,069
(D) 受益権総口数	20,083,545,823口
1万口当り基準価額（C/D）	49,154円

* 期首における元本額は13,184,144,752円、当作成期間中における追加設定元本額は10,390,656,802円、同解約元本額は3,491,255,731円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
iFreeNEXTFANG+インデックス 15,982,002,981円
FANG+インデックス・オープン 4,101,542,842円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は49,154円です。

■損益の状況

当期 自 2023年1月31日 至 2024年1月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	139,081,678円
受取配当金	104,606,250
受取利息	3,520,086
その他収益金	31,418,365
支払利息	△ 463,023
(B) 有価証券売買損益	31,075,787,222
売買益	31,915,623,477
売買損	△ 839,836,255
(C) 先物取引等損益	1,330,752,972
取引益	1,603,786,655
取引損	△ 273,033,683
(D) その他費用	△ 3,484,497
(E) 当期損益金（A+B+C+D）	32,542,137,375
(F) 前期繰越損益金	19,515,781,095
(G) 解約差損益金	△ 8,121,221,619
(H) 追加信託差損益金	34,698,738,218
(I) 合計（E+F+G+H）	78,635,435,069
次期繰越損益金（I）	78,635,435,069

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. The index data and marks referenced herein are the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers ("ICE Data and its Suppliers") and have been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html] for a full copy of the Disclaimer.

出所：ICE Data Indices, LLC（以下「ICE データ」）

本書で言及されているインデックスデータおよびマークは、ICE データ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICE データおよびその供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.

《お知らせ》

■ベンチマークの変更について

ベンチマークとしている株価指数を、以下の通り配当を含む株価指数に変更しました。

変更前：NYSE FANG+指数（円ベース）

変更後：NYSE FANG+指数（配当込み、円ベース）